

## 平成21年度第5回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成22年3月20日(土)午前10時～12時00分

2 開催場所 中央図書館1階 第2集会室

### 3 出席者

(委員)方波見委員長 坪井副委員長 花岡委員 田中委員 橋本委員  
土久委員 舟田委員 根津委員 軽部委員 須賀委員

(事務局)中央図書館長 副館長 総務係長 奉仕第2係長  
総務係副主査

### 4 議題

#### (1) 報告事項

平成21年度利用統計及び事業報告について(1月より2月)

平成22年度予算について

浦安市立図書館設置条例及び浦安市立図書館管理運営規則の一部改正について

図書館の情報発信について

その他

#### (2) 協議事項

平成22年度図書館の点検・評価について

### 5 議事の概要

平成22年1月より2月までの利用統計及び事業について事務局より報告を行った。

平成22年度予算について事務局より報告を行った。

浦安市立図書館設置条例及び浦安市立図書館管理運営規則の一部改正について事務局より報告を行った。

図書館の情報発信について事務局より報告を行った。

仮称高洲地区公民館複合施設の愛称選定委員会について委員長より報告があった。

平成22年度図書館の点検・評価について協議を行った。

### 6 会議経過

平成22年1月より2月までの利用統計及び事業について事務局より説明を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問) 図書館利用講座の参加人数が少ないのではないか。

(回答) マンツーマンで行う講座で一回の定員が4名と少なくなっている。他

の図書館の事例等を見て内容と方法は研究したい。

(質問)分館で貸出の減少しているところもあるが、資料の充足率は大丈夫か。

(回答)例年並みに確保している。新刊が棚から来館者に借りられる前にネット予約で確保される傾向があるのが問題である。

(質問)メールでの督促について、個人情報の使い方について明示しているか。

(回答)実施に先立ち、予約確保メールで案内を行った。

平成 22 年度予算について事務局より説明を行なった。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問)浦安市全体の予算は減額となっているか。

(回答)減額となっている。

(質問)舞浜駅前行政サービスセンターでのサービス内容は図書サービスコーナーと同じか。

(回答)同等のサービスを計画している。

(質問)明海大学との連携事業は次年度どのように行われるのか。

(回答)市民サービスの内容は従来どおり継続する。

(質問)新聞報道では、全国の図書館で図書費が減っていると聞くと聞くと、この図書費は自治体単位であるのか。

(回答)浦安市は分館を含む金額である。図書は一元管理を行っているのでひとつの図書館として利用者に対応している。報道の数字は日本図書館協会の出しているもので、施設単位の数字である。

(質問)電子書籍に対する備えはしているのか。対価の徴収についてはどう考えるのか。

(意見)電子書籍の著作権の問題は、国立国会図書館や権利者などでつくる協議会での協議が始まったばかりである。コンテンツが有料で配信される構想もあるようである。今後の動向に注視してゆきたい。

(意見)学術雑誌は電子化が主流となっている。電子書籍を購入する項目を確保しておく必要がある。

(意見)今後の国立国会図書館の動向には注視が必要である。モニター等が始まったら参加したほうが良いのではないかと。有料化の問題にも注視すべきと思われる。

(回答)いずれ直面する問題であるが、紙資料と電子資料のバランスが重要と考える。注視しながら、遅れないように、また、急ぎ過ぎないように対応していきたい。

(意見)市立図書館レベルでも商業ベースに乗らない市民著作の電子化などは必要になるだろう。本州製紙事件の原資料などは重要な資料となる。

浦安市立図書館設置条例及び浦安市立図書館管理運営規則の一部改正について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）図書サービスコーナーの規則上の扱いは。

（回答）浦安市立図書館管理運営規則で規定している。

（質問）複合施設にはどのような施設が入るのか。

（回答）公民館、児童センター等が入る。

（意見）開館時間、休館日など不規則で大変であると思うが、住民の要望もあると思うので対応をお願いしたい。

図書館の情報発信について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）前回の意見に対する早速の対応感謝している。中国人名などの入力独自で行っているのか。

（回答）マークデータで対応しており、10年ほど前に現地読みに変更された。

（質問）ベストセラーなどの複本の廃棄基準はどうなっているか。

（回答）ある程度期間所蔵し、その後内容により再利用などを行っている。

（意見）資料検索のプラグインを導入してはどうか。どこのページからも資料検索に飛ぶことができる。野田市等の事例がある。

仮称高洲地区公民館複合施設の愛称選定委員会について委員長より報告があり、出席する委員長に一任されることとなった。

平成22年度図書館の点検・評価について協議を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（意見）評価項目の指標とあるのは、図書館情報学ではどうやって数値化するかということで、数値化されていない項目は目標とすべきではないか。

（回答）協議会では学術的な定義づけは行っていないが、厳密な意味での指標とは言えないかもしれないので検討したい。

（意見）民間ではアウトカムが最初に来るものもある。

（意見）自己点検評価項目については、本件の研究者である須賀委員と相談すると良いのではないか。

（回答）須賀委員と相談の上、委員長に承認を得て点検項目を決定してゆきたい。